

学校法人 東京聖徳学園

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子聖徳女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ
第57号
平成23年12月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

主なトピックス

ガンバレ受験生!!
「入試日程」
「入試関係行事」
掲載中
詳細は → 8ページ

INDEX

学園	2
大学院・大学・短大	1・2・3・4
幼児教育専門学校	4
附属女子中・高	2・4
取手聖徳女子中・高	2・5
小学校	6
幼稚園	1・6・7
インフォメーション	4・8

より豊かな未来に向け ISO認証を更新
聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。
その後も、高品質でより良い教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
(教育の品質マネジメントシステム)
ISO 14001
(環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報紙です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>
「その他のご意見・お問い合わせ」まで

聖徳大陸上競技部 駅伝の舞台へ一歩刻む



関東大学女子駅伝4区を走る嶋田選手

今年四月に発足した聖徳大学陸上競技部が、いよいよ本格始動しました。第二十二回関東学生新人陸上競技選手権大会(関東学生陸上競技連盟主催)では、人文学部心理学科一年の嶋田美里選手が入賞、また、第十七回関東大学女子駅伝対校選手権大会(関東学生陸上競技連盟主催、読売新聞社後援)に出場を果たすなど、駅伝の舞台へ歴史的なスタートを切りました。



学長、監督、応援団らに囲まれて(関東大学女子駅伝)

九月十六日(金)・十七日(土)、関東学生陸上競技の登竜門である「第二十二回関東学生新人陸上競技選手権大会」が国立競技場で開催されました。初参加の関東学連主催の大会で、心理学科一年の嶋田美里選手は、先頭集団にくらいつく積極的なレースを展開し、1500mで五位、3000m

で六位と、二種目において入賞しました。嶋田選手は、「まだまだ課題が山積み」と意欲的に語っていました。

初の駅伝出場
九月二十五日(日)には、「全日本大学女子駅伝対校選手権大会(杜の都駅伝)」の地区予選を兼ねた、「第十

七回関東大学女子駅伝対校選手権大会」が千葉県印西市の千葉ニュータウン周回コース(六区間、30・6キロ)で開催され、熱戦が繰り広げられました。本学は、ゴールまであとわずかというところでアクシデントに見舞われ、やむなく棄権となりましたが、初の駅伝出場という一歩を踏み出しました。

佐藤信春・陸上競技部監督のコメント

「創設一年目は、まず『畑を耕す(部員を集め、出場する)』ことを目標に掲げてきました。残念な結果となりました。



「創設一年目は、まず『畑を耕す(部員を集め、出場する)』ことを目標に掲げてきました。残念な結果となりました。しかし、聖徳大陸上競技部の歴史の第一歩を選手たちは確実に刻んでくれました。そして、来年は『種をまき(着順をつける)』こと、再来年は『芽を出す(結果を出す)』ことを目標にしていきます。この悔しさを糧に、未来へ聖徳カラーのたすきをつなぎ続けていきます。これからも熱いご声援をよろしくお願いいたします。」

短大生考案のお弁当はいかが



総合文化学科の学生が販売も協力しました

総合文化学科の千産千消弁当
聖徳大学短期大学部と千葉興業銀行が、昨年5月に締結した連携協定に基づき、11月の第47回聖徳祭で千葉県の魅力ある商品・食材の展示・直売会「千産千商2011～がんばろう! 千葉 おいしい食べもの直売会 in 聖徳祭」を開催しました。
そこで限定販売されたのが、総合文化学科の学生が考案したレシピに基づき、県内駅弁最大手の株式会社「万葉軒」(千葉市)が千葉県産食材を使って商品化した3品目の「千産千消弁当(聖徳大学×万葉軒コラボ弁当)」です。

三年目のどんぐりキッズ隊!

美しい地球を健全な姿で未来に引き継ぐため、地球温暖化防止に松戸市が地域と一体となって取り組む計画「減CO2どんぐり作戦」に、附属幼稚園・第二幼稚園の年少児が参加しました。植物を育てる喜びや大切さを学びながら、地球環境への関心を深めるもので、今年で三年目になります。

松戸市長よりキッズ隊任命

開会宣言の後、川並知子総園長の手作り紙芝居『どんぐりキッズ隊出動』で、「どんぐりの成長と、その世話をするどんぐりキッズ隊の仕事」を学びました。本郷谷健次市長から「どんぐりキッズ隊認定証」が園児代表に手渡され、どんぐりキッズ隊に任命されました。植木鉢にまん丸のクヌギ、細長のマテバシイのどんぐりの実を植え、「大きなあれ!」と声をかけながら水やりをしました。

園庭には、一昨年、昨年の園児たちが拾い集めた苗木が成長しています。来年の二月下旬ごろ、今年に植えた苗木を植樹します。子どもたちの成長とともに木が大きいとなり、未来の地球を守る一端を担っていきます。



植木鉢と一緒に記念撮影(右から2人目が本郷谷市長)

松戸商工会議所

「会員事業所優良従業員表彰」に

本学園より五名

十一月十二日(金)に行われた松戸商工会議所創立六十年周年記念式典において、本学園より五名の方々が優良従業員表彰を受けられました。



川並 知子

名誉学園長 附属幼稚園総園長 附属第二幼稚園園長・第三幼稚園園長 浦安幼稚園園長 短期大学部保育科教授



桂 きみよ

人間栄養学部人間栄養学科教授



高橋 博子

短期大学部保育科教授



長江 曜子

人文学部生涯教育文化学科教授



手呂内利之

企画室参与

附属女子中高ゴルフ部・荒川侑奈さん(高二)が優勝!!



荒川侑奈さん

「平成二十三年度関東高等学校ゴルフ連盟秋季大会新人大会 兼 関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会」

会新人大会 兼 関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会の出場権を獲得しました。

「外務大臣賞」を受賞!! 第五十三回全国書道展



折原樹音さん

大東文化大学主催「第五十三回全国書道展(公募)」

が十一月二十六日(土)・二十七日(日)の両日、大東文化大学板橋校舎で開催されました。この公募展の審査の結果、附属取手聖徳女子中学校三年の折原樹音さんが、半紙の部で「外務大臣賞」を受賞しました。個人の表

聖徳大バスケット部・佐賀訓子さん(二年)が

「優秀選手賞」を受賞!!



トロフィーを手に 佐賀訓子さん

九月四日(日)から行われた「第六十一回関東大学女子バスケットボール大会四部リーグ戦」において、大学バスケットボール部の佐賀訓子さん(児童学部児童学科保育士養成コース二年)が、個人の「優秀選手賞」に選ばれました。チームとしては惜しくも六勝一敗という成績でリーグ入替戦の決勝トーナメントには進めませんでした。今後、三部リーグへの昇格が期待されます。

佐賀さんのコメント

「今回の受賞は、日ごろご指導くださった先生をはじめ、チームメイト、応援してくださった皆さまのおかげで選ばれたものだと思っております。本当にありがとうございます。これからは、この賞に恥じぬよう頑張りたいと思います。四十分間を乗り切る体力がまだまだ不足しているので、そこを強化していきたいと考えています。今後も聖徳大学バスケットボール部の指導、応援をよろしくお願いします。」

取手聖徳女子中高

吹奏楽部・畠山奏子さん(高二)が

「奨励賞」を受賞!!

全日本学生音楽コンクール 東京大会本選(フルート部門)



畠山奏子さん

十月二十六日(水)にサントリーホール・ブルーローズで行われた「第六十五回全日本学生音楽コンクール」(毎日新聞主催)東京大会本選のフルート部門・高校の部に、附属取手聖徳女子高等学校二年の畠山奏子さんが、予選を通過した十七名の一人として出場し、「奨励賞」を受賞しました。

なお、畠山さんはこの「奨励賞」の受賞により、十二月に開催される「第六十五回全日本学生音楽コンクール」全国大会(横浜)への出場が決定しました。全日本学生音楽コンクールは一九四七年の創設以来、日本のクラシック音楽界に数多くの人材を輩出してきた国内最高峰の学生コンクールです。

香和会

大学院・大学・短大同窓会

全国に広がる「和」の絆 香和会支部活動報告

香和会長 長江曜子

本年は、三月の東日本大震災、五月三十日川並弘昭学園長のご逝去、六月の学園葬、川並純新学園長のご就任と、大変化の年となりました。

聖徳大学の同窓会である香和会は、揺るがない心と和の精神で、東日本大震災支援と、故・川並弘昭先生をしのび、新名誉会長でもある川並学園長を囲む、支部パーティーを全国で展開しています。

東日本震災支援

十月十五日(土)には、北海道東北支部長の石川優子さんを中心に、東松島被災地支援子どもまつりに音楽学部の卒業生のコーラスグループ「ディヴァレンジャー」(五名編成)を派遣し、ミニコンサートをプレゼントしました。香和会長の長江と、作道副会長、平野役員三名

が同行し、支部メンバー五名とともに東松島コミュニティセンター会場内で数百名の皆さまと心温まる交流ができました。故・川並弘昭先生が大好きだった「旅愁」や、日本の唱歌、「となりのトトロ」を「上を向いて歩こう」を会場の皆さまと大合唱しました。終了後、被災地の視察をし、津波被害の爪跡生々しい光景に「息の長い支援」の必要性を強く感じ、支部懇談会で語り合いました。

合同支部パーティー



ディヴァレンジャーを囲んで

大学・短大部で就職活動イベント開催 「就活キャンパスin聖徳大学」

十月二十一日(金)、「就活キャンパスin聖徳大学(平成二十三年度第三回学内合同企業就職説明会)」を、大学一号館メディアラウンジにて開催しました。

今年度は、東日本大震災や円高の影響で経済状態の悪化が続き、就職環境は依然として厳しい状態になっています。しかし、企業の採用活動がすべて終了したわけではありません。そこで、企業と学生の出会いを一つでも多く取り持つべく、今年度三年連続開催となる「就活キャンパス」を実施しました。

当日は、企業十七社とまつど新卒応援ハローワークが参加され、学生は大学四年生・短大部二年生を合わせ九十五名が参加しました。学生が積極的に話を聞き、真剣にメモを取る姿が会場では見られました。

大学・短大部のキャリア支援室は、八名のスタッフと常時一名のキャリアカウンセラーが個別就職支援を強化しています。



学生たちの熱気が会場を包みました

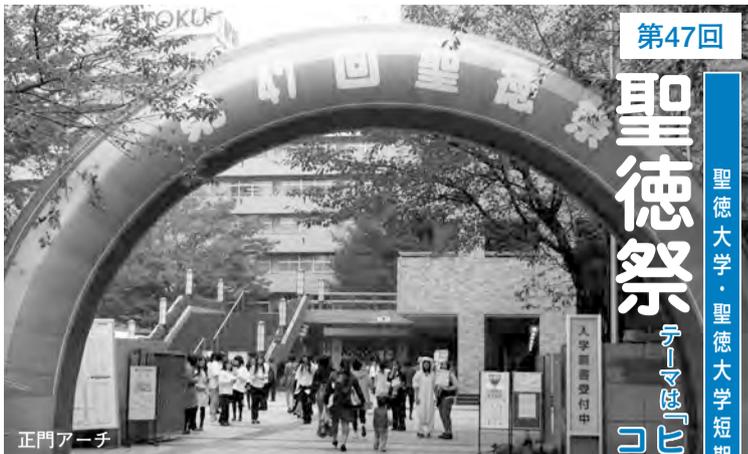
並孝純顧問も参加され、行われました。故・川並弘昭先生をしのぶスライド上映、卒業生のギター演奏がありました。会場内では、震災の募金活動も実施しました。一年を通じて集められた浄財は、卒業生のある被災地の保育所や幼稚園へ、「聖徳心のプレゼント」として折紙や折紙の本、唱歌CDを寄贈する計画です。

第47回

聖徳祭

テーマは「ヒトがつながる」「コロンガる」

聖徳大学・聖徳大学短期大学部



正門アーチ

当日は、恒例の栄養士のたまたごたちによるキッチンソルトやケーキ販売、普段の授業における研究成果の発表、クラブ・同好会の部員が一丸となって作り上げた華やかな野外ステージ発表など、日ごろの成果の一端を披露しました。また、今年度



多くの観客が集まる中、SHAN SHANプラザで行った開会式

学友会本部の企画では、初めて屋外のSHAN SHAN ANプラザで実施した開会式をはじめ、松戸西口商店街と協力して地元特産品を販売した「出張商店街(NETWORK)」、卒業生を招いて行った「Happy Homecoming」「クイズラリー」

十一月五日(土)・六日(日)、第四十七回聖徳祭が行われました。四月に在学生に向けて公募したテーマには、「聖徳祭をきっかけにヒトとヒトとが結びつき、お客さまをも巻き込んで、学内外にココロのふれあいが広がってほしい」という願いが込められています。

初の試みとして、千葉興業銀行とのコラボレーション企画「千産千商2011」(一面に関連記事)を行い、幅広い年齢層の方に楽しんでもらいました。



ダンスの発表

も好評でした。他にも学生と一緒に教職員も参加した「The Show」やスポンジバレー「SEI-TOKU CUP」では、普段はできない交流を図りました。

研究室から 第6回 原田 義也 原子力発電と東電の事故②

前号では原子力発電の原理を説明しましたが、今号では東日本大震災による東電の福島原子力発電所の事故について説明します。福島の原子力発電所は第1と第2があり、第1には6基の、第2には4基の原子炉があります。このうち第1発電所の1~4号機が重大事故を起こしました。事故の経過については表を参照ください(主に1号機で説明します)。

◆3月11日の地震の揺れを感じて、運転中の1~3号機では原子炉に制御棒が自動的に挿入されて、1分後には核分裂連鎖反応が停止しました。問題はその後です。連鎖反応が止まっても、炉内にはさまざまな放射性物質が残っています。

福島原発事故の経過(1号機)

3月11日	14:46	地震発生
	14:47	連鎖反応緊急停止
	15:30頃	津波襲来
3月12日	15:37	交流電源喪失
	早朝	首相視察
	6時頃	炉心熔融
	10:17	ベント開始
	15:36	建屋爆発
	19:04	海水注入開始

2~4号機については主要項目のみ

2号機	3/15	6:10	爆発音
		20時頃	炉心熔融
3号機	3/14	3時頃	炉心熔融
		11:01	建屋爆発
4号機 a)	3/14	6:14	爆発音
		9:38	火災発生

a) 運転停止中、使用済み核燃料有り。

◆それらの物質の原子核は放射線を出しながら、次々と別の原子核に変わります。これが「放射線崩壊」で、それに伴って「崩壊熱」が出続けます。停止直後の熱量は運転中の約7%ですが、それでも1秒間に約3トン(家庭用浴槽10杯分)の水を沸騰させるほどの量です。したがって、運転を停止しても原子炉を冷やし続けなければなりません。

◆ところが、冷却水を循環させるための交流電源が地震のために失われたため、原子炉中の水が蒸発して燃料棒が露出し、それを被覆している管(ジルコニウム合金)が1900℃で溶けて燃料が漏れ出したのです。次いで、2800℃で核燃料そのものが溶け落ちました(=炉心熔融、メルトダウン)。

◆一方、高温で発生した水素(ジルコニウムと水の反応、および水の熱分解で生成)が原子炉建屋に漏れ出し、空気中の酸素と反応して大爆発を起こし、建屋を破壊して放射性物質をまき散らしたのです。

◆表中の「ベント」とは原子炉の圧力上昇による爆発を防ぐための「ガス抜き」です。また、東電は冷却に海水を使うと廃炉になるので、爆発後まで海水注入をしませんでした。なお、4号機は運転停止中でしたが、使用済みの核燃料の崩壊熱によって事故が起こったのです。

(短期大学部総合文化学科学科長/専門分野は量子化学)

※(訂正)前号の記事で「U235の1グラムが核分裂すると、石炭3000トンを燃やしたのに相当」の表記中の「1グラム」は、「1キログラム」の誤りでした。

学生の海外研修リポート

児童学部では、三年次に海外研修としてヨーロッパを訪問します。今年の十月三日(月)から十月十二日(水)に実施された研修に参加した大川沙也加さんの報告を紹介します。

海外研修で学んだこと

児童学科児童心理コース三年 大川 沙也加

児童学部では、三年次に海外研修としてヨーロッパを訪問します。今年の十月三日(月)から十月十二日(水)に実施された研修に参加した大川沙也加さんの報告を紹介します。



衛兵交代式

児童心理コースの旅のメインであるタビストック・クリニック

地域に参画する若者たち



所長 福留 強

若者たちが地域に参画する機会を増やそうと、自ら見出したように思われます。若い女性も

「女子力」ともいわれるものを発揮しつつあります。本学の学生たちも、こうした時の流れにおくれることはないようです。卒業生を含めて各地で活躍するニュースが届くと、「男女共同参画社会」の実現を実感します。

若者たちの地域離れが指摘されて久しくなります。三月十一日の東日本大震災は、日本中に想像を絶する不幸をもたらしましたが、その中で、数々の日本人の優しくたくましい姿を世界に示すことになりました。

その一つに、コミュニティが多くの人々の命を救ったことも報じられました。多くの若者たちが、献身的に被災地でボランティアとして活躍している様子も伝わっています。こうした活動は、若者たちが地域に帰ってきたという兆候を示しています。ふるさとを取り戻そうという意識を、あらためてよみがえらせたといえるでしょう。

また、大学と地域の連携推進の中で、学生たちが地域の諸事業、まちづくりに関わっている記事も増えています。こうした活動から

「楽習フェスタ2011」で被災地の野菜を販売(6月)



「松戸まつり」でキッズスクエアの遊具運営をサポート(10月)



クでの講義では、フロイトの考えや、幼児期の環境がいかに心理的に大切であるかを改めて学ぶことができませんでした。エディンバラは街自体が世界遺産となっているため、どこを見ても歴史を感じさせる風景でした。イギリス最後の夜はスコティッシュナイト! バグパイプやカントリー

ダンスに酔いしれました。今回の海外研修を通して、イギリスの文化を学ぶことができました。海外研修に参加させていただいたことに感謝し、この経験をさまざまな場面で生かしていきたいと思えます。



オックスフォード大学にて(ハリー・ポッターの再現)

平成23年度 冬期 SOA 公開講座のご案内

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)では、冬期(Ⅲ期1~3月)に下記のさまざまなジャンルからバリエーション豊かな196講座を開講いたします。魅力的な講座を多数取りそろえておりますので、ぜひご受講ください。現在、申し込み受付中です。

開設ジャンル 特設講座、教育・心理、文学・歴史、生活・社会、資格・情報、芸術・文化、健康・スポーツ、語学、キッチン、1DAY講座

講座名	開講予定講座より	講師名
■ 人生後半期の「しなやかな自己表現」を目指して	長田 由紀子	ほか
■ 陸上競技ランニングの基礎「長距離走を楽しもう！」	百瀬 定雄	ほか
■ 1DAYフィットネス「健康のためのコアエクササイズ」	百瀬 定雄	ほか
■ 枕草子鑑賞	赤塚 雅己	
■ パソコン初級講座	前田 勲	
■ 心に残る朗読の仕方~健康になる腹式呼吸と発声方法~	柴田 かおる	
■ 鞭杆(べんがん)講座	楊 崇	ほか
■ 楽しくしゃべれる初級英会話	大木 忠郎	
■ やさしい料理教室	桂 きみよ	ほか
■ 和菓子講座A、B	中田 春美	

※その他、さまざまな講座を開講します。 ※詳細は、お気軽に、生涯学習課047-365-3601までお問い合わせください。

聖徳博物館で「不思議の国のアリス」展 開催中!!

【会期】平成23年9月19日(月)~平成24年5月12日(土)
【会場】聖徳大学1号館8階 聖徳博物館

1号館8階「聖徳博物館」では「不思議の国のアリス」展を開催しています。作者のルイス・キャロルが2012年に生誕180年を迎えるのを記念して、本学で所蔵している「不思議の国のアリス」「鏡の国のアリス」の初版本や、フィギュア、関連グッズの他、著名なフランスの女流画家マリー・ローランサンやスペインの画家サルバドール・ダリによる挿絵、「鏡の国のアリス」の印刷で実際に使われた活版なども展示しています。

「不思議の国のアリス」は、イギリスで出版されてから140年以上がたっていますが、今でも子どもから大人まで世界中で親しまれている、児童文学の古典となっている作品です。今回は資料の他にジオラマも展示しています。この機会に「不思議の国のアリス」の世界をぜひご覧ください。



「マリー・ローランサン挿絵」
1930年



「不思議の国のアリス」
初版1866年



フィギュアコレクション



食器コレクション

聖徳大学川並記念図書館が「聖徳大学川並弘昭記念図書館」に名称変更

学園全体の知の基幹としての図書館の整備に、長年にわたり情熱と熱意をもって取り組まれた故川並弘昭前理事長・学園長・学長のご功績に敬意を表し、聖徳大学川並記念図書館は、平成23年10月31日より、「聖徳大学川並弘昭記念図書館」と名称を変更致しました。

爽和会 附属女子中高同窓会 「四・五・六期生合同同窓会」を開催しました

八月二十八日(日)、附属女子高等学校内の食堂で「四・五・六期生の同窓会」を開催いたしました。当日は元名譽校長の菰田先生をはじめとし、先生方と同窓生、そして、お子様合わせて約百名が集まりました。高校を卒業してから初めて学校に足を運んだ方も多く、同窓会終了後も校内を回ったりして懐かしんでいる姿を見かけました。



6期生の集合写真

連絡先 附属女子高
047-392-8111
爽和会担当・石塚

幼児教育専門学校

三田幼稚園との合同運動会

前日まで天候が心配され、当日も曇り空の中、十月一日(土)に聖徳学園三田幼稚園・港区私立幼稚園連合会共催合同運動会が、芝公園グラウンドにて開催されました。

専門学校生は午前の部ではマスケーム、フォークダンスに参加しました。マスケームは、九月上旬から練習を始めた。初めてクラス単位の集団で動きを合わせるマスケームに、最初は戸惑いばかりでした。しかし、日々の練習に加え、自主練



マスケーム



綱引き

習を行い、当日は堂々と踊りきることができました。観客席からたくさんの方の声援と拍手をいただきました。フォークダンスは自分たちだけで踊るのではなく、園

児の笑顔の前にして踊ること、幼児教育の大事さと素晴らしさを改めて一人ひとりが実感できました。午後の部では、綱引きの競技に参加し、仲間と大きな声を掛けあいながら綱を引きあいました。結果は仲良く引き分けでしたが、大きな

声を出し、仲間と協力できたことで、チームワークの大切さを学びました。早朝から準備を行った運動会も瞬く間に終了し、後片付けまで全員で参加しました。演技・競技をする立場と、それを支える役割の両方を経験した専門学校ならではの貴重な体験となりました。

「ここにこまつり開催 保育者のたまご」の学生たち

十一月三日(木・祝)、三田幼稚園・幼児教育専門学校合同の「ここにこまつり」が開催されました。三田幼稚園の在園児や保護者の方をはじめ、卒園児、未就園児、

専門学校の卒業生、また、同時開催されたオープンキャンパスの来場者など、千七百名を超えるお客さまで大変にぎわいました。



遊びコーナー

意した食事が昼前に完売するほどの大盛況でした。また、お化け屋敷には長蛇の列ができ、出てきた子どもたちが「怖かった!」と笑いながらも笑いながら印象的でした。

専門学校の作品展では、児童文化の授業の中で制作したエプロンシアター、季節をテーマとした壁面装飾などは来場者から感嘆の声が聞かれるほどでした。人形劇コーナーでは、手作り人形を用いて、子どもたちに笑顔で話しかけながらオリジナルの劇を演じていました。

子どもたちの楽しそうな笑顔に、演じた後の学生たちも達成感を得られました。また、遊びのたまごの学生たちが優しく話しかけ、一緒に楽しむ様子もあちらこちらで見ることができました。同じ時間を共有することで、子どもたちと関わりながら、少しずつ本物の保育者へと育っていく過程が垣間見られた「ここにこまつり」でした。



人形劇コーナー

附属女子中学校・高等学校

第二十九回 聖徳祭を終えて

十月になっても例年になく少し蒸し暑い日が続いている中で、第二十九回聖徳祭が十月八日(土)・

九日(日)に開催され、盛況の内に終了しました。今年度の聖徳祭のテーマは、『Move』心を動かす刻め歴史を』でした。今



吹奏楽部演奏風景

年三月の震災により、私たちは一人ひとりが「動く」ことの重要性を痛感させられました。それらの「動き」の一つ一つは小さく無力なものであったとしても、それがさらに別の誰かを「動かす」ことができるのは事実です。一人ひとりが、自分自身にできることに一生懸命取り組むという主体的で積極的な行動は、人の心も動かすに違いありません。今こそ共に動き出し、大きな動きを創り出そう！という生徒の意気込みが、このテーマに盛り込まれています。



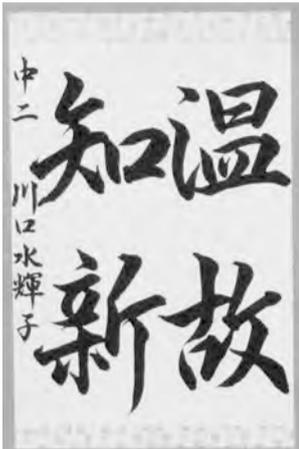
英語劇の様子

聖徳祭は、文化系の部・クラブ活動の発表が中心に行われますが、その陰では、各種委員会生徒の協力や後援会評議員やボランティアをしてくださった保護者の皆さま、教員の活躍がありました。今回の二日間の総来場者数は、二千八百八十七名を数えました。来年は、記念すべき三十回目の聖徳祭を迎えます。

東京学芸大学主催 第二十五回学芸書道全国展」で 最優秀団体賞受賞

第三十五回東京学芸大学学芸書道全国展(主催/東京学芸大学書道分野・観心会)が、八月二十六日(金)、二十七日(土)の両日、東京都小平市の東京学芸大学芸術館で開催され、表彰式が二十七日に行われました。

今回の展覧会には、全国の小中高등학교・書道教室などから九千二百五十四点の作品が寄せられ、七月三十日(土)に同大学書道実習教室において審査会が行われ、最優秀団体賞などの団体賞、東京学芸大学学長賞



川口さんの作品

などの個人賞が選出されました。審査の結果、本校は団体表彰として最優秀団体賞に、また、個人賞では中学半紙の部最高賞の東京学芸大学学長賞に本校中学二年生の川口水輝子さんの書いた



最高賞(学長賞)の表彰をうける川口さん

「温故知新」が選ばれ、その他上位特別賞に中学生九名、高校生七名が入賞しました。今後、附属女子中高では、十一月に千葉県高校文化祭

書道部門出品や第五十三回全国書道展(大東文化大学主催)での授賞式を控えており、また、年明けの全国規模の書道展にも本校から多くの出品を計画しており、生徒の活躍がますます期待されます。

取手聖徳女子中学校・高等学校

第二十四回

音楽科・音楽コース 定期演奏会」開催

間もなく四半世紀を迎えようとする、本校音楽科(高校)・音楽コース(中学)の伝統ある第二十四回定期演奏会が、十月十五日(土)に開催されました。

演奏会二か月前の八月二十二日(月)、定期演奏会出演者を決める校内オーディションが行われました。お盆休みを返上して練習に取り組んだ三十三組がエントリーし、十六組のソリストやアンサンブルが選出されました。選ばれたメ

た演奏を披露、そして中三音楽コースから高三音楽科の生徒全員による女声合唱では、ベルグレイジの名曲「スターバト・マリエル(抜粋)」が取り上げられました(写真/独唱:井坂佳子講師、ピアノ:加藤隆司教諭、指揮:鈴木純子講師)。ファイナーレでは、音楽コース・音楽科生徒全員と吹奏楽部との共演で、バッハのコーラル「主よ、人の望みの喜びよ」が演奏



初めてアミュゼ柏クリスタルホールで開催しました

され、三時間に及ぶ演奏会が幕を閉じました。

教員による報告 みんな誰かの宝物

取手聖徳女子中高は、女子教育では全国初となる教育課程特例校として、昨年度から教育課程に「女性キャリア」を取り入れています。10月6日(木)、中学1年生を対象とした「生命の尊重プログラム」のまとめとして、生徒一人ひとりに向けた保護者からのメッセージを紹介しました。

保護者の方々の愛あふれるメッセージに、生徒たちはただただ感動の涙を流しておりました。きっと、自分が宝物であること、そして周りのみんなも宝物であることを感じてくれたことと思います。「自分を、そして仲間を大切に、有意義な学校生活を送ること」、これが共通する親の願いです。1年生の皆さん、今日のこの日を忘れず、精いっぱい生きていきましょう。それが一番の親孝行です。以下、生徒たちの感想を一部紹介します。



熱心に耳を傾ける生徒たち

- ・親の気持ち、思い出を知れて、号泣しかありません。今年一番泣きました。
- ・この先、父と母に感謝して、1日1日を大切に生活を送りたいです。
- ・うれしかったし、感動した。この家に生まれてよかったと思った。
- ・号泣しました。しみじみと家族のありがたさを感じました。これからは家族を大切に、社会性のある人へと育てていきたいです。
- ・自分の手紙も友達の手紙も涙が止まりませんでした。こういう機会があってこそ、より家族の絆ができるのだと思いました。何事も全力でやり遂げて、親が名づけてくれたような子になれるようにしたいです。
- ・私はみんなから大切にされているんだと思い、涙がこぼれた。もっと自分自身を大切にしていきたいと思った。

(教諭 細津由紀子)

附属小学校

二十六回目の聖徳祭

力を合わせた

「和のカード」

十月十五日(土)・十六日(日)に聖徳祭が行われました。今回で数えて二十六回目となります。

舞台発表でも展示発表でも児童たちは立派に堂々と発表をして、大きな自信をつけ、たくましさを感じました。一方で教職員も児童の大きな成長に喜びを感じました。この経験を児童がこれからの学校生活に生かしていただけるように指導していきます。

舞台の部では、本年度は新たな取り組みとして、全校児童が取り組む全校ページェントで使われる「和のカード」を児童たちで作っていききました。何日も前から日替わりで、児童たちが図工室に集まり、カードをコトコトと作成し、当日は保護者の皆さま、多くの来校者の方々に児童たちの手で作り上げたカードを披露することができました。

他にも、二年生による音楽劇「葉っぱのフレディ」では、四季の美しい変化を舞台で表現するなど、今年度の聖徳祭も大盛況のうち幕をおろしました。



2年生が演じた「葉っぱのフレディ」

聖徳祭



全校ページェント

附属小学校は、今年度七年前に修学旅行の地が国内から国外のシンガポールとなります。平成二十四年三月十九日(月)から二十三日(金)の四泊五日で実施されます。それに向け、十一月十五日(火)に五年生の保護者と児童を対象とした「シンガポール修学旅行第二回説明会」が行われました。

当日は多くの保護者が来校され、シンガポール修学旅行への関心の高さが現れていました。その期待に応えるべく、松山武士校長、川並芳純附属女子中高校長



シンガポール 修学旅行へ向けて

附属小五年生

(本校主事から修学旅行の意義、現地の様子についての説明がありました。

佐藤幸雄副校長、寺本健司学年主任からは、修学旅行に向けての実際的な説明がありました。そこでは、第一回説明会でお伝えできなかった行程や宿泊ホテルなど具体的な内容をお知らせすることができ、充実した説明会となりました。

五年生の児童にとって学びの多いシンガポール修学旅行となるよう、成功に向けて今後も全教員が一丸となって取り組んでいきます。

水族園に入ると、まず園児の目を引いたのは、銀色に輝く体で大きな背びれ、胸びれを動かしている、大きなマグロでした。また、

幼稚園短信

附属浦安幼稚園

海の見える運動公園

十月十三日(木)、秋空はさわやかな日本晴れ。年中児の遠足の日、園から歩いて十五、六分程の海が一望できる運動公園に行きました。

到着するとワーッと歓声があがりました。まずは、先生方から公園での約束事をしっかりと聞いて、おのおの好きな場所で遊び始めました。トートムポールの高い所へ挑んだり、数名で吊り橋を渡り、揺らしながらスリルを楽しみました。松林の中で松ぼっくりを

拾い、先生や友達と大きさや数を競う等、自然の光の中で名前を呼び合いながらアピールしていました。

遊んだ後は、大好きなお母さんの手作り弁当を開き、「お母様に感謝し、いただきます」と手を合わせました。「私のはミッキーおにぎりよ」「僕のはソーセイジ入ってるよ」と誇らし気に入っていました。中には、お母さんのたくさん食べてほしいという思いから、量が多く食べるのに時間のかかるお弁当もありました。

秋の自然に親しみ、先生や友達と一緒に遊びながら、公衆道徳や交通のルールを守る体験をした一日となりました。



アスレチック遊具で大はしゃぎ

秋晴れとなった十月五日(水)、年中児たちが、東京都葛西臨海水族園に園外保育に行きました。海の生き物に興味や関心を持ち、自然の姿や生態を知ること、また、公衆道徳を守ることがねらいです。

朝九時、黄色のはとバスに乗り、出発しました。到着した水族園の「空の広場」から噴水池ごしに見える東京湾の眺めに「ワー！大きいな」「キラキラしているよ」と大喜びでした。



悠然と泳ぐマグロに圧倒される園児たち

普段見ることのできない太平洋、大西洋、インド洋の世界の海に住んでいる珍しい生き物や色とりどりの魚、ほとんど光の差し込まない深海の生き物、まるで踊っているようなきれいなクラゲ等、どの水槽を見ても驚きの連続で皆、興奮しているようでした。

ペンギンコーナーでは、「羽はあるけれど、飛べないペンギンは鳥なのか？魚なのか？」というクイズの答えを探そうと、熱心にペンギンの動きを見ている園児もいました。潮だまり近くのタッチプールでは、恐る恐るヒトデに触れ、「カタイ！」と見た目の柔らかさや違ってすることに手を引っ込める園児もいました。帰りのバスの中でも興奮して「僕、〇〇見た」「すご

かったね」と話している様子から、園児たちの心に残りました。

一日になったことを確信しました。

八王子中央幼稚園 「勤労感謝の集い」を行うことのできる

毎年勤労感謝の日(11月23日)にちなみ、「感謝の集い」を行っています(今年度は11月14日)



おまわりさんに感謝の気持ちを届ける園児たち

園内の感謝の集いでは、教職員に各クラスで作ったプレゼントを渡します。日ごろお世話になられている方々にあらためてお礼を伝えることで、さまざまな人に支えられて毎日過ごせていることのありがたさを伝える。園児が感謝の気持ちを伝える。そして、仕事の様子を見学し、その仕事の大切さを伺い、園児が「どの仕事もとても大事な仕事」と気付く良い機会となっています。

附属第二幼稚園 上野動物園遠足

十月十四日(金)、附属幼稚園と合同で年中組の上野動物園遠足を実施しました。当日は絶好の天気にも恵まれ、うれしさを隠しきれない笑顔いっぱいの園児たちが松戸駅に集合しました。

動物園に到着すると園内は、他の幼稚園、小中高生の団体や一般客で大にぎわいでした。安全面はもちろんのこと、絶対に迷子を出さないよう引率には大変気を配りました。



キリンの食事を見学する園児たち

一番最初に見た動物は、人気のジャイアントパンダでした。「パンダちゃん、まだ寝てるの? おはよう!」と話しかけたり、キリン、ペンギン、かば、エミューなどいろいろな動物を間近で観察

多摩中央幼稚園 「作品展」開催

十一月二十八日(月)、多摩中央幼稚園では作品展が行われました。四月から園児たちが作った作品や絵画を保育室や廊下に飾り、幼



自分の等身大が大集合

稚園は美術館のようになりました。年少児は初めてクレヨンや絵具でお父さんやお母さんの顔を描き、年中児はすいかの観察画や、先日行われた運動会の絵を大きな紙に伸び伸びと描きました。年長児は、昨年の年長児が自分の等身大を作り飾ったものが好評だったので、今年も友達同士で形を取り合いながら等身大を作りました。色を塗ったり、自分のスモックと同じように絵を描いたりして、少しずつ出ていくのを楽しみながら取り組み、出来上がる等身大の横で自分と比べて写真撮ったりして楽しんでいました。また、遊戯室に恐竜の世界を作り、卵から恐竜の赤ちゃんが顔を出したり、クラスごとに作った大きな恐竜があったり、タイムスリップしたような雰囲気でした。さらに、各学年で四月からいろいろな技法を用いて作った作品が集まっていく製作帳を展示し、一ページ一ページ保護者の方に作り方を説明したり、友達の製作帳を見たりして活動を通して、今までの生活の中のさまざまな経験や出来事を感じたこと、考えたことなどについて表現する楽しさを味わうことができましたので、今後の表現活動の幅を広げられるようにしていきたいと思っています。

附属第三幼稚園 楽しかった運動会

九月二十三日(金・祝)に、第三幼稚園の秋季大運動会が幼稚園隣の郷部児童公園で行われました。運動会が行われる週は、大きな台風が接近していたため開催が危ぶまれました。前々日に台風が通過し、小枝や落ち

やさしく声をかけてもらったり、モノレールに乗ったりと楽しい時間は瞬く間に過ぎました。幼稚園時代の楽しい思い出の一ページとして心に刻まれることでしょう。



みんなで力を合わせた鈴割り

葉の始末など整備に時間はかかりましたが、特に大きな被害もなく、無事に当日を迎えることができました。園児たちの元気な入場行進に始まり、各学年のかけっこ・遊戯・競技が次々に行われました。保護者の温かい声援を受け、園児たちは日ごろの運動遊びの成果を発揮することができました。中でも、年中・年長児のクラス対抗リレー

三田幼稚園 敬老の日の集い

敬老の日(11月14日)にちなみ、毎年九月に園児の祖父母をお招きして敬老の日の集いを行っています(今年度は九月十七日(土)に行いました)。最初に、学年ごとの歌や合奏・遊戯をご覧いただき、その後、各クラスで手遊びやフォークダンスをして遊びました。



会場へ案内をする園児たち

手をひかれてメイン会場への案内。うれしくも紅葉のような小さな手を握りながら、入場いたしました。私は思わず「ありがとう」と大きな声でお礼を言いました。とても心に残る光景で、あちらこちらで同じシーンが見られました。我が孫娘も二年後の年長さんになった時には、同じ案内をして来場者を楽しませてほしいと思います。(年少組 奥澤佑奈さんの祖父様)

後日、年少組のおじい様、おばあ様からお手紙が届きましたので一部を抜粋し紹介させていただきます。園に入る年長さんたちの大きな声による歓迎の言葉、玄関に入り、靴を脱いだ途端に、年長さんがつかつかと側に来て我が手を握り、

いひとときを過ごしました。園児たちは、この運動会を通して友達と一緒に協力して一つのことを行う楽しさや、ルールを守る大切さ等を経験し、心身共に成長できました。

平成24年度 入試日程

聖徳大学 大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]
〈博士後期課程〉

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include 一般入試, 社会人入試, 研究生入試.

〈博士前期課程〉

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include 一般入試, 社会人特別入試, 研究生(留学生除く)入試, 私費留学生特別入試, 研究生(留学生)入試.

〈専門職学位課程〉(教職研究科)

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試, 現職教員特別入試.

聖徳大学 児童学部(女子)/
心理・福祉学部(2012年4月開設/女子)/
人文学部(女子)/人間栄養学部(女子)/音楽学部(女子)
聖徳大学短期大学部(女子)

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include AO入試 後期, 地元密着特別奨学入試, 公募推薦入試, 自己推薦入試, エリア特別推薦入試, 特別奨学生入試*, 特別奨学生入試*, 一般入試*, センター試験入試.

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include 特別奨学生入試*, 特別奨学生入試*, 全学全学科統一入試*, 全学全学科統一入試*, 一般入試, センター試験入試, 一般入試, センター試験入試, 帰国子女特別入試, 社会人特別入試, (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試, (アスリート・サポート) 特別奨学推薦入試, 一般入試, 社会人特別入試, 特別奨学推薦入試.

*は地区・ターミナル試験場(13会場)でも受験可能

聖徳大学 児童学部(女子)・人文学部(女子)・
音楽学部(女子)編入学、聖徳大学短期大学部 専攻科(女子)

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間(必着), 入試日. Rows include 内部推薦入試, 一般入試, 学士入試*, 社会人特別入試*, (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試*, 一般入試, 学士入試*, 社会人特別入試*, (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試*.

*は編入学試験のみ実施

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)〈前期・後期入試〉

Table with 4 columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試, 幼稚園・保育所園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 特別入試, 一般入試, AO入試, 公募推薦入試, 保育科・保育コース推薦入試, 幼稚園・保育所園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 特別入試, 一般入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with 4 columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学 (第1回入試, 第2回入試, 選抜クラス特待入試, 第3回入試), 高校 (普通科, 音楽科).

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with 4 columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学 (推薦・専願入試, 一般入試・学力特待選考), 高校 (推薦入試, 一般入試【兼 学力特待選考】).

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531

毎日実施! キャンパス見学 (電話予約制)

受験生の皆さん、入試に向けて準備はいかがですか? 1・2年生の皆さん、進路選びは順調に進んでいますか?



「キャンパス見学」では、入試に関する説明や皆さんからの質問・疑問にお答えすることはもちろん、学びやキャンパスライフ、免許・資格のことなどをアドバイザーが個別に丁寧に説明いたします。資料もパンフレットをはじめ、入試要項や各学科の資料、赤本などをお配りしています。

オープンキャンパス ▶ 12月18日[日] 13:00~16:00 聖徳大学松戸キャンパス

進学相談会 ▶ 12月4日[日] 10:30~16:00 聖徳大学松戸キャンパス

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) ●お問い合わせ: 047-365-1200 (直通)

大学・短大部4月生出願受付開始! 12月20日(火)から

2012年4月入学生のための入学説明会

▶ 平成24年1月8日[日] 13:00~15:30 聖徳大学松戸キャンパス

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆さまの広報誌です。今後も内容の充実をめざしてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

〈郵送〉〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで
〈インターネット〉https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

インターネットを利用して皆さまの聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。

〈アンケートURL〉 http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第57号
発行人/川並 弘純 編集/総務課

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

11.12.1 re (1/1)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811 (代)

昼のオープンキャンパス ▶ 平成24年1月14日[土] 10:00~12:00

夜のオープンキャンパス ▶ 12月7日[水] 17:30~19:30

▶ 平成24年1月18日[水] 20:00~22:00

*学校見学は、随時行っています(日・祝は除く)。

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 047-392-8111 (代)

学校説明会 中学校 ▶ 12月10日[土] 10:00~ 高等学校 普通科 ▶ 12月3日[土] 10:00~
▶ 平成24年1月8日[日] 10:00~

進学相談会 中学校・高等学校 ▶ 12月24日[土] 10:00~14:00

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111 (代)

入試対策説明会 ▶ 12月18日[日] 10:00~ 音楽オープンスクール ▶ 12月26日[月] 10:00~

*詳細につきましては、各校にお問い合わせください。

信州春日温泉 かすが荘 長野県佐久市春日2258-1

一般 9,400円~ のところ
学生・教職員 5,400円~
卒業生・家族・同伴者 8,300円~
(1泊2食付)

ご予約・お問い合わせは
現地フロント係が承ります。
お気軽にお電話ください!

TEL.0267-52-2111

施設の詳細等は本学園HPでご覧いただけます。http://www.seitoku.jp/gakuen/house/

日本蜜蜂のハチミツ



両日でブースには800名の来場がありました

11月5日(土)、6日(日)に開催された聖徳大学の聖徳祭で、かすが荘は「日本蜜蜂のハチミツの試食」を出展し、昨年好評だったハチミツ、ブルーベリージャム、リンゴジャムの試食を行いました。「去年買ったのがおいしかったからまた買いに来ました」というお客様もおられ、開始早々からにぎわいました。ハチミツは今年も長野県佐久市にあるかすが荘の近隣で採蜜されたものを用意しました。

今回は他にも近隣で収穫された米、みそ、ジャガイモ、リンゴなどの食材を販売しました。米は「五郎兵衛米」と呼ばれるブランド米、みそは地元で作られている雁喰豆(がんぐいめ)を使った雁喰みそ、ジャガイモは「白土(はくど)ばれいしょ」と呼ばれるブランド食材を用意しました。五郎兵衛米はかすが荘でお客様に提供しており、ハチミツ、ジャム、みそは売店で販売しています。皆さまのご利用をお待ちしています。